

豊川小だより

〒114-0003

東京都北区豊島 3-10-23

TEL:03-3913-4111

FAX:03-3913-4130

北区立豊川小学校

校長 中村 順子

「心がつながっていく瞬間」

校長 中村 順子

5月号



入学式、始業式から1か月が経ちました。今年度の豊川小は、全学年でクラス替えを行ったことで、全ての学級で新しい友達を作ることができる環境になっています。そのためか、4月の当初は、児童同士の声掛けにも、少々ぎこちなさを感じられました。しかし、担任や専科の教員が、授業中はもちろんのこと、休み時間も共に過ごして、子供たち同士の関係をつなげていったこともあり、あっという間にあちこちから笑顔が見られるようになりました。そんな豊川小の素敵な光景をお届けします。

この時期の登校時には、1年生の中には、おうちの方と離れられずに涙ぐんでしまう子がいるものです。今年も校門前でそのような光景が見られました。泣いている1年生を、私が保護者の方から受け取って手をつなぎ、教室に連れていこうと校庭を歩いていたところ、そこへ6年生数人の心強い「助っ人」たちが現れました！あっという間に1年生と私を囲み、「1年何組？ 校長先生、ぼくたちが連れて行きます！〇〇くんだね！行こう！」と、靴箱へと連れて行ってくださったのでした。進級してたった数日しか経っていないのにもかかわらず、6年生はすでに立派な最上級生として、豊川小を支えてくれていることが感じられ、うれしく思えたできごとでした。

またある日の休み時間のことです。校庭の隅にあるビオトープは、この時期は低学年の児童に大人気です。「校長先生、見て見て！」の声に誘われてビオトープをのぞいてみると、そこには池が真っ黒くなるほどの、かわいらしいオタマジャクシの大群がいました。数人の児童が思い思いに池をのぞき込んでいたのですが、一人が「葉っぱの裏に一番集まってるんだよ！」と声を上げると、「なにになに？」と近くにいた子たちが寄ってきて、「ほんとだ！」「すごい！」「かわいい！」と歓声を上げていました。個々に遊んでいた異学年の子供たちが、一人の声掛けで仲間になって楽しい時間を共有している場面に出会い、私は子供たちから素敵な時間をもらえた気がしました。

登校時の1年生と6年生、ビオトープの低学年の児童、それぞれが見せてくれた小さな行動は、豊川小の子供たちの心がつながっていく瞬間のように感じられました。子供たちの小さな輝きを大切にしながら、これからも着実に教育活動を進めて参ります。

特別支援教室

けやきルームの紹介

けやきルームでは、児童の学級での適応状況や認知、感覚などの特性を踏まえた指導・支援を行います。学習体勢や人とのやりとりの力を高めること、気持ちの調整に関わること、注意集中や視覚などの困難さに応じた指導を行いながら、自分に合った学習方法を見つけていきます。

巡回指導教員の紹介

本校では、柳田小学校の巡回指導教員が来校して、けやきルームで児童の指導を行います。

今年度はこの6名が担当します。

わたなべ 渡邊	なみえ 波衣	たなき 柵木	あきこ 章子
にし 西	ともみ 智美	こはやし 小林	まひし 雅
うえはら 上原	みさき 実咲	さいとう 斉藤	しゅんすけ 峻介

